

## 地域医療構想について

- 1 構想区域の設定はどうか。現行の二次保健医療圏は変更になるのか。
- 2 地域医療構想において、直接在宅医療に関係するイメージが掴めない。
- 3 地域医療構想の策定によって、病院の病床数が変化することになるのか。
- 4 在宅療養の拡大には、診療報酬等での誘導が効果的なのではないか。
- 5 住民が地域外の病院を利用することが多く、地域包括ケアシステムを進める中でジレンマを感じる。
- 6 病床の必要量を算定するうえで、他県との流出入をどのように整理するのか。
- 7 中小病院を地域包括ケアシステムの中でどう位置付けていくかが課題

## 在宅医療等の医療需要推計について

- 1 二次保健医療圏だけでなく、区市町村毎のデータが欲しい。
- 2 区市町村毎の数値がわからないと、データの活用が難しい。
- 3 在宅医療等では、医療機関所在地ベースと患者住所地ベースでは、どちらを基準とすべきか。
- 4 医療機関所在地ベースと患者住所地ベースの差は、訪問診療を中心に行っている診療所の影響が大きいのではないか。
- 5 医療機関所在地ベースの方が実情に近いのではないか。
- 6 在宅医療等の医療需要推計に使うデータは、医療保険だけでなく介護保険についてもみる必要があるのではないか。

## 病床機能報告について

- 1 地域医療構想策定に向けて、病床機能報告の数値はどのように利用するのか。
- 2 ホームページに公開されることで、そのデータが都民にどのように使われるか。
- 3 報告の精緻化に向けた取組が必要である。
- 4 同じ病棟に急性期の患者も回復期の患者もいるので、どちらの機能で報告をするか難しいという意見も聞く。